

隠岐の島町

2014年(平成26年)7月31日発行  
平成26年7月号(第38号)

# 議会だより



※写真は東町のだんじり祭り

- 6月定例会報告・・・P2
- 予算をチェック(質疑)・・・P3
- 4人の議員が町政を問う(一般質問)・・・P4
- こんな議論がされました(委員長報告)・・・P7
- 採決の状況・・・P9
- 陳情や要望・・・P10

# 6月定例会

6月定例議会は、6月19日から6月27日まで開催された。

主な議案は平成25年度一般会計及び特別会計補正予算、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、条例改正、物品購入契約、工事請負契約、報告・承認案件などが提案され、全て原案どおり可決された。

松田町政に対しては4名の議員が一般質問を行い、議案には1名の議員が質疑を行った。



# 子どもの医療費助成を

# 義務教育終了まで拡大！

## 子どもの医療費助成に

### 1361万円

子どもの医療費助成制度は、これまで6歳未満までだったが、本年10月より義務教育終了まで拡大されることになった。また、名称も「子ども医療費助成制度」と変更して新たにスタートする。今回の制度改正で、子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減や、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するものである。本町では子育て支援は喫緊の課題であり、更に「無料化」に向けて検討するよう議会でも要望している。

## 本人負担額の上限

	0歳から15歳 (義務教育終了まで)
所得制限	なし
入院	2000円
通院	1000円
※薬局など	負担なし

金額は1ヵ月、1医療機関あたりの本人負担額  
※詳細は町発行のお知らせ便をご確認下さい。

## 10月1日より開始

### 主な新年度予算

### 委員の推薦

◇ふるさと納税推進事務費

16万円

ふるさと隠岐の島応援寄付金の納付方法にクレジットカード導入する費用と、寄付者に対して町の特産品を贈呈するための費用。

◇下水ポンプ場改修費

230万円

下西ポンプ場送水管の修繕費。

◇人権擁護委員の推薦

野津 憲一 氏(都万)

◇飯美・福浦浄化センター通報装置修繕費

248万円

飯美および福浦地区の浄化センター通報装置の取替え工事費。

協田 千代志 氏(久見)

◇事務用パソコン購入費

908万円

サポート終了に伴い、役場のパソコン60台分を購入する費用。

### 物品購入契約

◇教育用パソコン整備費

569万円

西郷小15台、中条小7台、有木小10台をそれぞれ整備する費用。

◇ごみ収集車の購入

1247万円

4者による指名競争入札で、(有)太陽車輛が落札。



任期はいずれも平成26年10月1日～平成29年9月30日まで

# 予算・条例等をチェック!

# 質疑

質問した議員  
池田 信博

## ふるさと納税の 推進事務費は?

池田(信)議員 魅力ある物品が多くあるところは寄付金が多い。品揃えをどうする。

企画財政課長 隠岐のブランド品で対応している。議員 特産品は満足してもらえない物を贈り、制度は町のPRに活用すべきだ。

企画財政課長 寄付金は財政の手助けであり、物を贈るのは別の話である。ブランド品として確立できるように進める。副町長 今後、検討すべきところはありますが、現段階では、ふるさと納税制

度の趣旨を尊重して取り組んでいる。

## 児童生徒の医療費 助成事業は?

池田(信)議員 対象年齢

を6歳から15歳とし、負担は3割から1割とした。卒業が遅れることも考慮し、義務教育終了までとすべきだ。さらに金額助成して制度を充実させる考えはないか。

町民課長 15歳で卒業ということで年齢超過のことは考えていなかった。支援策は医療費助成ということだけではなく、全体の計画の中で支援策を検討する。

## 生活保護者の 自立支援は?

池田(信)議員 生活保護者対策への取り組みは、就労支援をして自立につなげるべきだ。

福祉課長 職種が限られた求人が多く、自立や就労につながっていない。毎月一回以上訪問して指導している。

## 道徳教育の 研究指定事業は?

池田(信)議員 道徳教育の抜本的改善・充実支援事業とは。

総務学校教育課長 ネットモラル中心の教育を実施する取り組みである。

## ネットモラルとは

インターネット社会で必要とされる道徳やモラル。タレントの写真を勝手に撮影し、無許可でネット上で公開してしまう問題など、近年ネットモラルに関するニュースが多く取り上げられている。

## 「ふるさと納税」先進事例の紹介

各市町村では「ふるさと納税制度」を活用して市町村のPRや地域活性化に努力している。ここではいくつかの先進事例を紹介いたします。

### ふるさと納税の成長

#### 米子市

ふるさと納税制度が開始された翌年から地元企業と協力し「米子市民体験バック(地元企業協賛品詰め合わせ)」「がいなええもん(地元企業タイアップ記念品)」の特典を寄付金額によって贈るようになっている。平成20年度1067万円だった寄付金額が、平成25年度は2億7924万円となっている。

### 地域おこし協力隊を 推進委員に

#### 北海道 上士幌町

地域おこし協力隊を、ふるさと納税の推進委員に任命し、全国に上士幌町や地元特産品の魅力を紹介し、ふるさと納税の促進や地元特産品の販売促進を図っている。

### マラソンの出場権を 特典に

#### 岐阜県 揖斐川町

ふるさと納税で10万円以上寄付をすると、町で毎年開催されている「いびがわマラソン」にエントリー料無料の出場権が渡される。いびがわマラソンは定員1万人の人気マラソン大会。

### 「ふなっしー」を特典に

#### 船橋市

「ふなっしー」がデザインされたグッズを、ふるさと納税の特典にしたところ話題を呼び、特典導入後の一ヶ月間で前年度の寄付総額を大幅に上回る寄付金が寄せられた。

# 町政を問う！

## 一般質問

今回は4人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。

全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載いたします。

問

…議員質問

町長

…町長答弁

教長

…教育長答弁



**Q** メガソーラーのより良い有効活用を！  
**A** 事業を推進し、事業者は民間公募する。



齋藤 昭一 議員

問

隠岐の電力は島内で発電し確保している。その原資たる化石燃料輸送が停止すると途端に島の全機能が動かなくなる。昨今、各自治体でエネルギー確保に積極的に動き始め、大規模太

置すれば、一般家庭の約3500世帯分の発電量が見込める。町が事業に参入し、売電すれば相当の収入源となるのでは。自分の島の電力は自分で賄おうと考えてはどうか。

**Q** メタンハイドレートへの取り組みを！  
**A** 県と歩調を合わせ動向を注視する。

問

隠岐の島周辺には「メタンハイドレート」が埋蔵されており、天然ガスに換算すると日本の年間使用料の100年分にも相当すると言われている。ぜひとも採掘事業に参入する価値はあるとこれまで町長に進言してきた。今年4月、経済産省がメタンハイドレ

ートの埋蔵量を把握するため調査を開始した。「将来的には商業生産が軌道にのり山陰沿岸が受け入れ基地になれば雇用などの経済効果が期待できる。」としている。

隠岐はメタンハイドレート採前線基地にうってつけであり、そうなれば一時保管施設宿舎、雇

町長

以前は大容量の発電は隠岐では消費しきれなく、事業が成立しなかったが、環境省の「離島の低炭素地域づくり推進事業」で蓄電池システム実証事業を実施することで可能となり、事業を推進することにした。事業は民間公募し、電力会社に売電し、固定資産税が入る。



島の電力は自分で賄おう！

町長

現段階では本町単独で取り組めるものでもなく、今後も県と歩調を合わせ動向を注視する。



前田 芳樹 議員

問

本町の人口動態を見ると、若年層が団地化した町営住宅区域に集中する反面、旧来の集落では若年層の姿が消えて限界集落化が加速し、まさに集落消滅の危機に差し掛かっている。

Q 若者定住促進住宅の建設地の分散化を！  
A 地域の意見を聞きながら進める。

この傾向は公営住宅政策による影響を受けている。一部世代を隔離するのではなく、子どもから高齢者までの世代間交流が保てる社会構造が自然な姿ではないか。公営住宅のない集落にも分散配置するよう公営住宅政策を転換すべきではないか。

町長

限界集落がこれ以上増えてくると集落の維持ができなくなるので、これまでの政策を踏襲する訳にはいけません。地域の意見を十分に聞き相談して進める。

Q 缶詰工場などの大規模水産産業殖産を！  
A 水産加工場の整備実現に向けて取組む。

問

今、島には安定的な雇用拡大が見込める大規模な殖産政策が必要だ。昨今の島の経済は地盤沈下し、働く場所も少ない。

できるのは本町では水産業ではないか。水産業は、大きな加工施設がないため素材のまま安く出荷せざるを得ず付加価値の付けようがない。付加価値を付けられる加工部門を境港に譲る必要はない。缶詰め向きの安い素材と未利用資源が隠岐の海には大量にある。100人程度が働けるような大規模な缶詰工場を整備して仕事場をつ



付加価値をつけて島外出荷を！

町長

本年度は、より踏み込んだ調査検討を進め、スピード感を持って水産加工場の整備実現に向けて取り組み、雇用の場の拡充と定住促進につなげる。

Q 全国学力テストの学校別成績公表は？  
A 公表すべきでないと考えます。



池田 信博 議員

問

文部科学省は学力テストの学校別公表を26年度から認める決定をして公表には配慮事項も示して結果分析と改善策の提示も義務づけている。

教長

教委は学力テストの結果公表は非公表としているが、教育長はどう考えているか。  
本町の児童生徒数があるため、一人の成績で平均点が変わり、教育水準を考えるためには意味を持たないし、個人を特定できる恐れがある。公表することが、多忙な教育現場に更に拍車をかける結果となり、先生方への考えは？

Q 学力テスト成績の公表の考えは？  
A 教育委員会の結論を尊重すべきと考えます。

問

地方教育行政法改正案が成立し、今後は、町長も教育委員会と一緒に教育の理念を定める大綱や重点施策を作成することとなった。

町長

①教育の目標は、自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる「生きる力」を育むことであり、互いに競い合っている。②学力テストの公表は、地域や保護者に情報を開示し、説明責任を果たす必要性は感じているが、公表については教育委員会の結論を尊重すべきと考えている。



たくましい競争心の育成を！

余分な負担をかける恐れがあるなど、良い影響があるとは思えない。学校の序列化、保護者の不安感を助長することにつながり、生活・道徳指導など、すべての面にわたって評価することが大切だと考え、公表すべきでないと考えます。

**Q** 野焼きによる牧野整備と維持管理を！  
**A** 情報交換しながら有効な対策を講じる。



遠藤 義光 議員

**問** 黒毛和牛の生産に企業も参入し、販売高は米の1億2000万円を超える見込みだ。林地を牧野として活用すれば島の経済振興に貢献でき定住対策にもなる。

牛を成長させるには草が生える牧野が必要だ。近年開発した牧野には草が生えていない。

植物の生理生態を理解しながら建設費も押えて牧野をつくるには野焼きが有効だ。熊本県の阿蘇は千年の昔から野焼きで草原を守っている。隠岐でも島前と連携して放牧場の整備や維持管理に特区として取り組んでほしい。

**町長** 本町では畜産振興のため森林環境を

棄物の適用外である。関係者と情報交換しながら対策を講じる。

**問** 現在新たにできた牧野に草が生えていないのは野焼きをしなかったからではない。空いている場所に草が生えていないのはなぜか。

**町長** 今後は設計者とも十分に話し合せて現地状況等を見定めて設計をさせる。

**Q** セイタカアワダチソウを撲滅せよ！  
**A** 町民に協力をお願いして撲滅作戦を取る。

**問** アメリカからの帰化植物であるセイタカアワダチソウは、根や地下茎からアレロパシ

ン物質を出し周辺の草を弱らせ、やがて自分だけ繁茂する。花粉は気管支ぜんそくの原因にもなる。隠岐固有の植物、生態系を守るべきだ。

**町長** 本年度からオオキケンケイギクの駆除作業を環境省が取り組む。セイタカアワダチソウについても町民の理解



オオキンケイギクの駆除に全力を！

**竹島対策特別委員会のうらぐみ**

委員長 米澤 寿重

**議会提案**

本定例会で竹島の領土権確立のために次の5項目の実現にむけ国に対し意見書を提出することを決定した。

①竹島の領土権の早期確立を図ること。

②隠岐の島町に竹島問題普及啓発施設を設置すること。

③暫定水域における漁業秩序の確立を図ること。

④国境離島における国防体制の強化を図ること。

⑤学校教育における竹島に関する学習の強化を図ること。

**東京集会**

6月5日に竹島問題の早期解決を求める東京集会が憲政記念館で開催され、当委員会からは8名

が参加し、総勢387人が出席した。政府代表として出席した後藤田内閣

府副大臣は「竹島は我が固有の領土である。」と述べ、平和的に解決す

るために全力で取り組む姿勢を示した。集会では5項目の要望決議がされた。

**啓発活動**

懸案事項となっていた「竹島バッジ」を製作することとなった。

バッジは黒曜石をベースに竹島と日本の国旗をアワビの殻で表現し、親しみやすいデザインとなっている。バッジの製作は竹島問題の啓発に大きく貢献するものと期待される。また、委員からは大量生産が可能なバッジも作製し啓発に努めるべきとの意見もあり、町に要望した。



竹島問題の早期解決を！



竹島バッジ

# ふるさと納税の積極的活用を！

委員長 小野昌士

## 審査の状況・結果

全国の自治体では地域をアピールするために「ふるさと納税制度」を積極的に活用しており、マスク等に取り上げられたことにより、地域や特産品のPRに効果があがっている。

本町では、12月よりクレジットカード決済による納税が可能となり、併せて藻塩米などを贈答する予定である。

委員からは、「制度を積極的に活用して町をPRすべきだ」、「新たな特産品を開発することで経済も活性化するのではないか」、「魅力ある特産品を準備することで寄付件数の拡大につながるのではないか」等の意見がありメディア等を活用して積極的に制度拡大を図るよう指摘した。

## 子どもの医療費を無料化に！

当委員会では、子育て支援の一環として「子どもの医療費助成制度」を義務教育終了まで無料にするよう再三にわたって提言してきた。

町は提言を受け、保護者の経済的負担の軽減や児童生徒の健全な育成とこの島で安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めるため、本年10月1日から義務教育終了ま

総務教育民生常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

で医療費を助成するよう条例を改正した。

義務教育終了まで対象者を拡大したことは評価出来るものの、個人の負担額の上限は通院で1000円、入院は2000円の負担は解消されていない。

町は、新たな次世代育成支援計画を検討しているが、当委員会は今更なる子育て支援を充実するために無料化も含めて検討するよう要望した。

## 所管の調査事項

### 公平な税の徴収を！

町税等は、自治法や地方税法で5年間で時効となるが、適切な時効管理が出来ていなかったため欠損金が発生しているとの報告があった。具体的には、平成25年度決算が9月議会に提案される予定である。

特定の者のみに時効による利益を与えることがないよう、財務規則等で督促の時期や手続きを明確に規定し、債権の時効管理をするよう指摘した。

### 自治力低下に

### 早急な対策を！

人口減少や少子高齢化の進展により、高齢化率50%以上の地域や集落は9地区と拡大してきており、従来からの地区活動や諸行事が出来にくくな

り、地域の自治力が低下してきている。

県内では、地区公民館を生涯学習の場としてだけでなく、地域の自治力を高める方策としてコミュニティセンターや地域振興センターに衣替えしているところもある。

町は役場組織の見直しを検討しているが、公民館が地域活動をサポートし、地域を活性化させる橋渡しの機関となるよう検討すべきと提言した。

### あんきに暮らせる体制づくりを！

役場の包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようサポートするため、町内に住む65歳以上の一人暮らし（1593人）の者のうち、介護保険制度等のサービスを利

用していない高齢者414人を訪問調査し、今後の災害時の対応・見守り・連絡体制等、関係者で意見交換して対応する体制を検討しているとの報告があった。

### 子ども達に

### よりよい環境を！

教育委員会では、来年4月から学校給食センターを民間委託に、五箇都万中学校は児童数の減少により、今後の方向性を検討するため検討委員会を設置することである。

学校給食を民間委託でいいのか、学校統合は仕方ないのか、本当に必要なのか、しっかりと検討し、隠岐の将来を担う子ども達に、よりよい方向を出すよう要望した。



更なる子育て支援を！

# 専門技術者の確保を！

委員長 佐々木雅秀

## 審査の状況・結果

### 下水道事業の見直しと効率化を

西郷浄化センターの流入量が平成29年に処理能力を超えるため、日本下水道事業団と3年間で5億7500万円の基本協定を結び処理槽を増設するものである。

#### 【委員の意見】

- ①計画の見直しと未導入地区の下水道計画の状況は？
- ②施設の建設コスト、更新や維持費が増大する中で事業団に任せるばかりでは問題だ。
- ③下水道施工の専門技術者を育てるべきだ。
- ④維持管理費と料金収入はどうなっているか。
- ⑤起債の償還が将来増えていくがその状況は？

#### 【執行部の答弁】

- ①平成24年に下水道計画を見直し、一部の地区での合併浄化槽へ切り替え、事業の前倒しや計画年数の短縮をしている。
- ②、③専門技術者は必要性を感じる。
- ④料金収入で維持管理費を回収できる見込みだが、建設費償還分や人件費は賄えず一般会計に頼らざるを得ない。
- ⑤下水道の起債償還は、平成34年度～35年度がピークで平成39年度まで毎年4億円を超える額となる。し尿処理、集落排水、公共下水を一体的に管理・運営できる汚水処理共同整備事業（MICS）を来年度導入して効率化を図る。

産業建設常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算などの議案は審査の結果、全て「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

## 所管の調査事項

### しっかりとした説明責任を！

本定例会で『ホテルMIYABI』の開業に1200万円の改修費用がかかり、9月補正で提案したいとの説明があった。当初は、10月末まで営業するための費用は指定管理者負担とし、町負担はないとの説明をうけていた。

『ホテルMIYABI』は昨年の12月定例会で購入が決定した。今後、運営に関する事業は常任委員会と綿密に協議をしていく事を約束した経緯があった。

その後、連絡や情報提供がなされており委員会としても評価していた。

しかし、営業再開するには消防法や衛生法などの許可を得ることが必要となり、消防設備や厨房改修に多額の費用がかかったとのことである。事前の説明や報告がなのまま事前着工したこととなり、当委員会では大きな議論となった。

ところが今回、事前にも説明がないまま、1200万円を超える大規模の改修工事を行なったことであり、言語道断である。委員会としては約束は徹底し、今後同じことが起きないように強く指摘した。

#### 【委員の意見】

●開業費用について町の負担はないという説明があったが、状況が変わったのになぜ説明しなかったのか。

●昨年12月定例会では、「観光施設整備事業の執行については常任委員会と詳細について綿密な事前協議をすること。」と執行部と常任委員会との間で約束をしたが、費用負担があることについて事前の説明がないことは約束違反であり、議会軽視

である。

#### 【執行部の答弁】

金額が未確定では報告できないと判断した。業者に肩代わりをしていたが、9月議会にリニューアル費用を補正するときに一括して計上する考えであった。速やかに協議すべきことをせず大変申し訳ない。

今後、約束した事項については執行部全体で徹底することであった。



リニューアルについては綿密な協議を！

# 採決の状況

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 除…除斥

## 賛成多数で可決された議案

件名	西尾	池田賢	安部大	佐々木	前田	平田	齋藤幸	小野	齋藤昭	高宮	米澤	遠藤	池田信	福田	安部和
平成26年度一般会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
【要望】津戸漁協船揚場の用地舗装の不採択について	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○

※平成26年度一般会計補正予算の反対理由 ふるさと納税推進事業費に反対…西尾 齋藤(幸) 遠藤

※「【要望】津戸漁協船揚場の用地舗装の不採択について」に反対している議員(前田、小野、高宮)は、要望書の内容に賛成の立場です。

## 全会一致で可決された議案

平成25年度国民健康保険事業勘定の専決処分	平成25年度一般会計補正予算の専決処分
平成25年度国民健康保険事業勘定(中村診療)の専決処分	平成25年度簡易水道事業の専決処分
平成25年度国民健康保険事業勘定(五箇診療)の専決処分	平成25年度下水道事業の専決処分
平成25年度国民健康保険事業勘定(都万診療)の専決処分	平成25年度訪問看護事業の専決処分
平成25年度布施へき地診療施設の専決処分	平成25年度五箇へき地診療施設の専決処分
平成26年度国保施設勘定(五箇診療所)特別会計補正予算(第1号)	平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
町職員の定年等に関する条例の改正	公民館設置及び管理条例の改正
乳幼児等医療費助成条例の改正	公共下水道管路布設(2号幹線その1)工事請負契約の締結
基本協定の締結について[公共下水道西郷浄化センター建設工事]	公共下水道管路布設(5号幹線その2)工事請負契約の締結
島後清掃センター塵芥収集車購入契約の締結	【要望】蛸木漁港物揚場、船揚場の用地舗装について
【陳情】小原田川に隣接する道路の拡幅要請	

## 反対討論

### 特産品贈呈費に反対!

西尾 幸太郎

ふるさと納税推進事務費について反対の立場で討論を行う。

当事務費のうち、クレジットカード決済導入費用の部分については、高く評価するところである。

しかし、寄付者に対する特産品贈呈費については、1万円から3万円未満の寄付者に対して500円程度の地元産品を贈るといふ内容であり、とても賛成することはできない。

現在のふるさと納税はこれまで指摘した通り、如何にして地域経済を盛り上げるのに活用するか、都市圏に集まる住民税をわが自治体に引張ってくるか、と様々な自治体が知恵を絞りに絞って、ふるさと納税制度の改革・改善にしのぎを削っている。

こんな状況の中で、本町は地元産品をおまけ程度に贈るだけでよいのか。この制度は工夫次第で税収増はもちろん、地域経済の活性化や商品開発力の向上、雇用の創出、隠岐の島町のPRに効果を出すことが出来る可能性を秘めている。今回の事業内容でこれらの効果はどの程度望めるのか。

寄付をした方々の気持ちを大切に、それに応えようとするならば、今回の特産品贈呈費は、付け焼き刃的な事業内容で始めるのではなく、所管である企画財政課、農林水産課、観光課、定住対策課が地元生産者や事業者としっかり連携し、本町に寄付した方達をはじめ、全国の人達が「隠岐の島町は頑張っているな!」と感心するような制度にするための準備費用に変更すべきである。

# 隠岐広域連合議会

## ○平成26年第2回定例会

6月3日に開催され、提案された議案は、慎重審議の結果、全会一致で可決承認された。

### 【同意案件2件】

- ① 新隠岐支庁長の山岡尚氏の副連合長の選任同意。
- ② 海士町長の山内道雄氏の副連合長への選任同意。

### 【報告案件1件】

- ① デジタル無線整備費の一部を26年度へ繰越。

### 【承認案件5件】

- ① 平成25年度決算見込みによる補正の専決処分等。

### 【条例案件3件】

- ① 島前病院の部局及び役職の名称の変更。
- ② 消防手数料の一部改正。
- ③ 花火大会火災を教訓に、大規模な催しを主催する者に対して必要な業務計画の作成等の義務づけ。

### 【一般会計・特別会計補正予算4件】

- ① 人事異動や給料改定等による人件費等の補正。
- ② 消防事業会計では、平成26年度着工予定の訓練塔建設費6015万円が計上された。

### ○主な事業の経過

- ① 仁万の里新築完成竣工式が3月22日行われ、4月1日より運営が社会福祉法人「博愛」へ移行された。
- ② 消防庁舎新築工事は、6月16日より杭打工事が開始され、本年度末の完成を目指す。
- ③ 鳥取港振興会から、鳥取港と隠岐航路のレインボーJを活用した観光ルート開拓の要望があったが、問題点も多く今後の検討課題とした。
- ④ レインボーJ運航実績は、5月12日現在、就航率96・2%・前年度比14・4%の増と大幅に欠航が減り、今後の隠岐観光などの力強い味方になると期待される。

報告者 福田 晃

## 皆さんからの陳情や要望

番号	件名	提出者	付託委員会	審査結果	理由
要望 第3号	蛸木漁港物揚場、船揚場の用地舗装について	漁業協同組合JFしまね 西郷支所蛸木地区 運営委員：砂本 憲一	産業建設 常任委員会	採択	町が管理する漁港であり、用地舗装の必要もあるため。
陳情 第5号	小原田川に隣接する道路の拡幅要請について	原田区長：脇 良男 原田認定こども園 保護者会：天草 亮平 小原田地区 囑託員：今岡 安博	産業建設 常任委員会	採択	幼児の安全な通行環境を整備することが重要である。
要望 第2号	津戸漁協船揚場の用地舗装について	津戸区長：山根 豊伸 津戸地先委員長：浜田 利長	産業建設 常任委員会	不採択	県管理の漁港であり、現時点ではその舗装は認めがたい。

### 編集後記

ジメジメした梅雨も明け、日差しが肌に痛い季節となりました。

6月議会では、我々議員が訴え続けてきた「子どもの医療費助成制度の拡大」が結実し、色々な意味で感慨深い議会となりました。一方で、町執行部と議会の意思疎通に関する問題も露呈するなど、まだまだ解決しなければならぬ課題も山積しています。

合併10周年記念を祝う花火大会や野外音楽フェスティバルの成功で未来の隠岐の島町に夢を抱きつつ、目の前に山積する課題を解決しなくてはなりません。

はじめて編集後記を任せられ、少々お固い文面となってしまうました。これから暑さも厳しさを増してきますが、体調を崩されないよう滋養をしっかりとってこの夏をお過ごしください。  
(私はダイエットを頑張ります。)

副委員長 西尾幸太郎

【投書先】議会事務局

FAX(2) 3396